第１回　越前警察署協議会

開　催　日　時	令和８年５月１４日（木）午後３時３０分～午後５時００分
開　催　場　所	越前警察署　２階講堂
出　　席　　者	越前警察署協議会委員　６名 越前警察署員署長以下　１０名

協議会の概要

１　会長挨拶
２　署長挨拶
３　自己紹介
４　越前警察署管内の治安情勢等
５　意見・要望
○委員：越前たけふ駅前交番建設後の住民アンケートは、良い取組だと思う。外国人も多いことから、今後も市民の声を聞く機会があれば紹介していただきたい。
●警察：住民アンケートは地域の声を警察行政に反映させる上で大変有意義であると再認識した。今後も、必要に応じて実施してまいりたい。
○委員：当社の外国人従業員の中にもスマホを介して詐欺の被害に遭った者がいる。外国人にも同じく注意喚起する必要があると感じている。
●警察：外国人向けの防犯講習は随時行っている。貴社にもご協力を願いする。
○委員：特殊詐欺の犯人から電話が掛かってきても、冷静に対処できるか不安である。地域の人たちも同じように感じているのではないか。
●警察：被害者の３～４割が特殊詐欺の手口を知っていたと答えている。手口は巧妙化し、「自分は大丈夫だ。」とは言えない状況だ。現在、警察庁推奨アプリの普及促進を図る取組を進めている。周りの方にも活用を勧めてもらいたい。
○委員：先日、私の携帯電話に「福井県警です。」と電話がかかってきて、身分証明書の提出を求められた。国際電話だけでなく非通知でもかかってくることに驚いた。年齢に関係なく幅広い世代に注意喚起が必要だと実感した。
○委員：地域で見知らぬ男性が住宅を回り、「不要なタイヤはありませんか。」など聞いてくることがあり、不審に感じる人がいると聞いている。警察の対応は可能か。
●警察：しつこく来た場合や不審な質問や要求が続く場合などは警察が対応している。このほか、金属くず業者が県内外から訪問してくるケースがある。
○委員：「ふくいポリス」の利用者が３万件以上増えたと承知している。大変参考になる情報が多いので、できるだけ多くの人にアプリを紹介していただきたい。
●警察：警察行政の様々な機会を通じて広報している。今後も普及に努めたい。
○委員：南越前町では今後３つの駐在所を１つの交番に統合するということだが、過疎化が進む地域では不安が残る。巡回回数の増加など安全確保に向けた対策をお願いしたい。
●警察：３人制の交番にすれば警察官を常駐させることができるメリットはある。
住民の方々の不安感をなくすため、パトロール強化を図っていく。
○委員：交番に行っても警察官が不在のときがあり、電話での問合せ先も分からない

という声が多い。駐在所が減っても住民が不安を感じることがないよう、丁寧に説明していただきたい。

●警察：交番の不在対策として、日中は交番相談員が在所し、勤務員が不在の場合は交番ネットワークシステムで対応している。各種活動を通じて周知させていくとともに、適切な対応を行ってまいりたい。

○委員：特殊詐欺は依然として予断を許さず、被害金額は大幅に上昇している。電話による詐欺は「国際電話に出ない。」「不審な番号は直ぐにブロックする。」など、具体的な対策を周知する必要がある。

●警察：繰り返しになるが、不審な電話に出ないというのが最善の方法である。特殊詐欺被害防止のための専用アプリに登録すれば、詐欺の電話を自動でブロックできる。普及活動を強力に進めていきたい。

○委員：自転車に関する法改正でヘルメット装着が努力義務化されたが、子どもだけでなく大人へのヘルメット着用啓発も強化していただきたい。また、自転車が走行できる歩道について分かりやすい標識の整備に努めていただきたい。

●警察：企業講習や高齢者サロンなどを含め、あらゆる機会を通じてヘルメット着用を促す取組を推進していく。標識の整備については、引き続き本部と協議していきたい。

6　会議の状況



